

「男女間における暴力に関する調査」の調査項目等の比較表

	H26調査	今回(案)
対象等	<ul style="list-style-type: none"> 富山県内在住の満20歳～満79歳までの男女 対象数：1,200人（男女各600人） 住民基本台帳による層化副次無作為抽出法 郵送により調査票を配付のうえ、後日調査員により直接回収 	<ul style="list-style-type: none"> 富山県内在住の満20歳～満79歳までの男女 対象数：2,000人（男女各1,000人） 住民基本台帳による単純無作為抽出 郵送配付、郵送回収
回収率	71.9%（863人）	40%（見込）

項目	内容	
回答者の属性	①性別②年齢③職業④学歴⑤年収⑥世帯構成⑦婚姻歴等⑧住居状況	①性別②年齢③職業④学歴⑤年収⑥世帯構成
男女共同参画等に係る意識	・男女の役割意識について	・男女の役割意識について
暴力の認識度	・どのような行為が暴力にあたるか	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような行為が暴力にあたるか ・新 暴力にあたらないと思う理由
身近における暴力の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で被害を見聞きしたことはあるか ・被害を知ってどのような対応をしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で被害を見聞きしたことはあるか ・被害を知ってどのような対応をしたか
DV防止法の認知度	・DV防止法を知っているか	・DV防止法を知っているか
公的機関の関与度	・相談機関の認知度	・相談機関の認知度
婚姻歴等	—	・婚姻歴等
加害経験の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者等への加害経験の有無 ・暴力をふるった理由 ・暴力をふるったことへの認識 	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者等への加害経験の有無 ・暴力をふるった理由 ・暴力をふるったことへの認識
被害経験の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者等からの被害経験の有無 ・被害の程度 ・誰に（どこに）相談したか ・相談しなかった理由 ・暴力行為を受けた後、加害者と別れたか ・別れられない理由 ・この3年間での被害状況 ・子どもは暴力を見聞きしていたか ・子どもへの暴力の有無 	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者等からの被害経験の有無 ・新 暴力行為を受けた後の生活上の変化 ・被害の程度 ・誰に（どこに）相談したか ・相談しなかった理由 ・暴力行為を受けた後、加害者と別れたか ・別れられない理由 ・新 子どものことで別れなかった理由 ・この3年間での被害状況 ・子どもは暴力を見聞きしていたか ・新 子どもの虐待被害の状況 ・新 面前DVの認知度
子どもの頃（18歳になるまでの頃）の経験	・子どもの頃に、両親間の暴力、両親からの虐待経験等があったか	・子どもの頃に、両親間の暴力、両親からの虐待経験等があったか
デートDV	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVを知っているか ・10～20歳代当時の交際相手の有無 ・交際相手への加害経験 ・交際相手からの被害経験 ・暴力行為を受けた後、加害者と別れたか ・別れない理由 ・被害の程度 ・暴力行為を受けた後の生活上の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVを知っているか ・10～20歳代当時の交際相手の有無 ・交際相手への加害経験 ・交際相手からの被害経験 ・暴力行為を受けた後、加害者と別れたか ・別れない理由 ・被害の程度 ・暴力行為を受けた後の生活上の変化
その他の被害経験	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーカー被害、痴漢被害、性暴力被害の状況 ・加害者との面識の有無 	—
暴力防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・男女間の暴力をなくすために必要な対策 ・被害者支援のために必要な対策 ・自由記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女間における暴力を防止するために必要な対策、被害者を支援するために必要な対策 ・自由記述
計	32問 （フェイスシート、自由記述を除く）	32問 （フェイスシート、自由記述を除く）